

会議録

平成30年第4回

仙南地域広域行政事務組合  
教育委員会定例会会議録

平成30年11月29日開議

## 平成30年第4回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成30年11月29日(木) 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則, 委員 佐藤よし美, 委員 大沼吉朗,  
阿部 誠(七ヶ宿町教育委員会教育長・オブザーバー)
4. 欠席委員 委員 佐山富夫, 委員 菅原紀治
5. 説明のため出席した者  
教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章  
仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦  
主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良, 仙南芸術文化センター次長 玉渕博之  
主事 三ツ澤音々, 主事 山田純士, 仙南芸術文化センター総務係長 渡部勇造
6. 開 会 午前10時

### 7. 平成30年第3回教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
( 質 疑 )	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

### 8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、佐藤よし美委員にお願いいたします。
佐藤委員	はい。

### 9. 諸報告

#### 報告第1号 平成30年10月から同年11月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹よりご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉渕次長よりご説明申し上げます。

#### 報告第2号 AZ9 ジュニア・アクターズ角田公演について

三ツ澤主事よりご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
	<質疑なし>

### 10. 議事

#### 議案第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育委員の辞職の同意について

平成30年10月3日に辞任の申し出を行った菅原紀治委員について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条の規定により、辞職の同意を行うことについて、黒澤主幹より別紙にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船迫教育長	同意するというのでよろしいですか？
	<異議なし>

議案第 2 号 平成 3 1 年度仙南地域広域行政事務組合視聴覚教育事業計画（案）・仙南広域圏の振興発展に資する事業計画（案）について

上記の計画（案）について、黒澤主幹より別紙（資料 1）にてご説明申し上げます。

議案第 3 号 平成 3 1 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター事業計画（案）について

上記の計画（案）について、玉渕次長より別紙（資料 2）にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
佐藤委員	AZ9 ジュニア・アクターズの子供たちが公演の他にもいろいろな所に行って参加することによって、公演の盛り上がりにつながっていると思います。子供たちの力ってすばらしいと思います。あんなに力を持っているのだなと感心させられます。子供たちの意識としてはどのような感じなのか？
三ツ澤主事	夏まつりでパフォーマンスするだけでなく、お店も楽しんだりとか、パフォーマンス以外の時間を楽しみにして会場に行っているの、どのお祭りもお店だとか町の人とのふれあいを楽しみにしながら行っております。
船迫教育長	保護者の方々にとっては負担になっていないのか？
教育次長	こういったアウトリーチで外部の方に行ってパフォーマンスをする場合、現地集合ということで、保護者の方にご協力いただくのは確かにございますので、その意味では、負担になる部分もなきにしもあらずですが、親御さんたちが AZ9 ジュニア・アクターズのレッスンを観ていただくというのは、当番制という形になっておりまして、年のうち何回かそのレッスンの日に当番として、子供たちの面倒を見るという名目でレッスンを観ていただいております。そういった場ではないところで、ある程度発表の形でのパフォーマンスを観る機会というのは、こういう機会なので、まあ負担と言いつつも、皆さん楽しんでいただいているので、そういった部分では、それほどこういったものが負担になることはないと思っています。それから、先ほどの子供たちにとって、アウトリーチというものがどういう体験になっているのかという補足なのですが、本人たちは意識はないと思いますが、こういった色々なアウトリーチに参加することで、意識していない地域のイベントに参加することにもなりますので、子供たちが地域を知るという意味でもいい機会になっていると思います。AZ9 ジュニア・アクターズというのが、仙南地域の児童劇団という成り立ちがございますので、そういった意味でも地域の様々なイベントに関わっていくことで、認知を高めるとともに、地域の児童劇団という立ち位置も固めていくこともできると思います。こういったものについては、保護者の負担感というものがございますけれども、そこに過重に負担にならない程度にこういった機会を増やしていければと思います。
佐藤委員	委員になったのをきっかけに、友の会に入らせていただきまして、いつも観させていただいております。すべてを観ることは難しいとは思いますが、こちらの方では観ることができない演劇なのではないかと思えます。なかなか予約を、あの時点では電話がかかからないくらいなので、もっともっと観たい人もいないかと思えます。それくらい人気があると思っております。感想といえば感想です。
水戸館長	今の電話がかかりにくいということで、大変申し訳ございません。セットチケットをまず先行に発売するのですが、初日はもう凄いの電話の数が増えますので、かかりにくい状況がありまして、お客様に大変ご迷惑をおかけいたしまして誠に申し訳ござ

	<p>いません。なるべく改善するために電話の対応も新年度から改定するようにしています。いずれ、チルドレンの話で申し上げましたが、最後で若干ですが、2階の後ろの席が残っているという状況でした。一番最初のかかりにくい状況については私たちが考慮していきたいと思います。その時期を過ぎますと、比較的に買い求めいただけます。なるべく早く買い求めいただければ、良い席が買い求められます。ぜひまた、ご来館いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>発売の時間に電話をかけても、もう席のいいところはないんですね。残っていないのは、セットで買っているから、セットで買っている方々がいい席を買い求められる。</p>
水戸館長	<p>セットチケットについてご説明申し上げますと、一般発売に先行して全公演を発売しておりますが、一番最初にセットチケットをお買い求めいただければ、良い席を早めに、しかもお安く買い求めいただけます。できれば、セットチケットをお買い求めいただきたいと思います。ですから、一般発売の時には、ある程度の、大体4割くらい、物によっては5割くらいチケットが売れてしまってから、一般発売になりますので、かなりお早めにご来場、お電話いただいてもそれなりの席になってしまいます。セットチケットの意味というのは、販売促進もあるのですが、日頃観たことがない公演にも足を一歩踏み込んで観ていただけるきっかけづくりという意味合いもありますので、そういった意味でもセットチケットをやっています。</p>
佐藤委員	<p>人気があっていいなと思って、購入させていただきました。</p>
大沼委員	<p>たくさんの事業があって、大変だなと思います。利用される人にとっては、心待ちにしているんだなと思います。所々に、実施時期が年3回とか、調整中とか、これはいつ頃わかるのでしょうか？</p>
玉淵次長	<p>この住民創造グループの活動に1回とか3回とかというのは、例えば、ウインドアンサンブルですと、毎週火曜日の平土間ホールという設定がございます。ただ貸館というのが入りますと、主催なのですが、1日ずれていただいて、一般のお客さんを優先するという傾向があります。最悪の場合には、1日お休みという形になることもあります。全般的に言うと、その設定ということで、2回とか3回とか、一旦設定を設けた指定を設けています。それから予定というところは実際に今お話を進めているところでもありますので、まだこの時期では設定がされていないということです。現実的には、12月以降の文化庁への補助金の申請ですね。こちらで確定がされた段階で事業が確定するというので、正直言うとそこまで含めて、それまではほとんど全てのものが調整中という言い方が正しいです。</p>
大沼委員	<p>4月には大体わかるのでしょうか？</p>
玉淵次長	<p>3月には内示がありますので。</p>
大沼委員	<p>もう一つ事業と関係ないのですが、16ミリフィルムですね、貴重なものなのですが、これをデジタル化すると高いですよ、そういう予算を将来計上して、著作権とか問題があるかもしれませんが、そういう考えはあるのでしょうか？</p>
黒澤主幹	<p>予算的なことから言えば、大体1分間あたり1万円というのが16ミリフィルムの金額です。10分ですと、10万円、100分ですと、100万円というふうになります。それは、もともと制作会社さんで持っている原本があります。それを複製したものが、貸出に使われています。それを検査、点検しながら使っているわけなのですが、どうしてもフィルムなので劣化しています。デジタル化ということでお</p>

	<p>話がありましたが、複製するにはかなりの金額がかかります。一時期、16ミリフィルムが使われたときは良かったのですが、だんだん学校とか、社会教育団体さんの方で映写機ではなくて、プロジェクターの方になってきたところがございます。それに伴ってDVDとかビデオテープもそうなのですが、変わってきまして、実際、今、ヘビーユーザーさんは児童館、保育所、幼稚園の先生方です。やっぱり実際に映写機を使って見せたいということで、利用させていただいております。この方々については、使っているのですが、その他の方々については、なかなかDVDにしないと見れないということもあり、予算化というかなり多額の予算が必要になるので、これについては、映写機自体もそうなのですが、フィルム自体もそうなのですが、今後どのようにしていけばいいのか、利用も含めて検討の余地があります。実際にうちの方での今持っている検査機なのですが、部品の方がございません。壊れてしまうと直せない状況になり、うちの方でストップするか、映写機自体が壊れて使えなくなるか、という状況に来ているのですが、検査、点検をしながらやっていくというのが今のところです。</p>
船迫教育長	<p>前回大沼委員からの質問で、制作と製作の違いについては？</p>
水戸館長	<p>確かにご指摘をいただきました。衣がついている方は具体的なものを製作すること、舞台制作については、具体物の製作ではなく、ソフト面の制作、大枠の制作ということでいいのではないかとこの考えです。</p>
船迫教育長	<p>資料1に関わってくると思いますが、ドローンの導入というのは？</p>
教育次長	<p>実は、あずなびあまつりの際に、ドローンを試験的に導入して、飛ばしてみたりということをしております。購入ということではなくて、えずこに出入りしているアーティストの方の方で試験的に導入したものを持ち込んでいただいて、試したものです。確かに教材制作等も含めて、いろんな活用の余地があると思います。実際にあずなびあまつりの時に飛ばしたものと、機材もえずこに貸与していただいている状態ですが、それをお出でいただいた自作教材を作っていらっしゃる方にも観ていただいたのですが、これをやると昔でしたら、セスナ機を飛ばしてやらなければいけなかったが、空撮の作業などが大変簡単にできるし、しかも、かなりの画質で撮影できるということで、これはあると活用できる、作れなかった教材が作れる、というような話はいただいています。こちらの方は計画(案)に反映するか、考えたときに、やはり人の上を飛ばすものなので、万が一落ちた時にどうするか、といった意味で、保険的なものも必要になりますし、ある程度習熟するという意味では、講習的なものも受講した方が間違いないと思います。現在、ドローンを巡る法的な体制もわけなのですが、割と後追いになっています。法整備も追いついていない部分もあります。こういったものもカバーしながら、運用しなければいけないということで、講習等は実際に必須になると思います。そのような部分もございまして、そうなることで、ドローン本体、それなりのクオリティで撮影できるものとなりますと、10万～20万は黙ってかかってしまいます。それに、講習や保険だということで、考えますと、今現在、毎年購入している教材の他に、新たにその分の予算を計上するというと、なかなか厳しいところがあります。足踏み状態になっております。体制だ、要望が多く、これはよろしいという要望もいただいておりますので、これにつきましては、できるだけ積極的に導入したいということで、進めていきたいと思っております。新年度の方には、反映するには至っていないということです。</p>
船迫教育長	<p>AZ9 ジュニア・アクターズ第27回公演はどこが舞台？</p>

	27回公演につきましては、まだ正式に決まっておりません。これまで、ここ何年か仙南の市町にスポットを当てるといってやってきておりまして、最近の例ですと、今回の角田市、丸森町が舞台の丸森キャッツ、蔵王町が舞台のザオウランドカウガール、村田町が舞台の村田スカイメイズ、大河原町、柴田町が舞台のサクラファイター999、一部白石市の内容も含んでいるのですが、こうやってみていきますと、昔上演した作品で、リバーストーリーというのが七ヶ宿町も舞台にしております、白石市を舞台にした作品がありません。そういった方面にいきまして、2市7町をまんべんなくテーマにしているという形にすることが望ましいということを考えています。
( 質 疑 )	<質疑なし>

### 1.1. 次回教育委員会定例会の日程について

船迫教育長	平成31年3月25日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	-----------------------------------

### 1.2. その他

#### (1) 平成30年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算(第2号)について

山田主事より別紙資料3にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### (2) 平成30年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算(第2号)について

渡部係長より別紙資料4にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### (3) 平成31年度仙南地域広域行政事務組合教育費当初予算(案)について

山田主事より別紙資料5にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### (4) 平成31年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算(案)について

渡部係長より別紙資料6にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### (5) 仙南ふるさとC-M(コミュニティメディア)グランプリ(第41回仙南地区自作視聴覚教材発表会)について

黒澤主幹より別紙にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

#### (6) AZ9ジュニア・アクターズ第26回公演について

三ツ澤主事より別紙にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	<質疑なし>
---------	--------

13. 閉 会 午後12時5分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成30年11月29日

教 育 長

署名委員